

単 元

年 組 番

一年 文法② 文の組み立て

氏 名

文節どうしの関係

☆ 六つの文節どうしの関係を、例文を使って確実に理解する。

①主語・述語の関係

(例) 風が 吹く。

②修飾・被修飾の関係

(例) 風が 強く 吹く。

③接続の関係

(例) 風が 強く 吹いた。だから、帽子が 飛ばされた。(理由)

④独立の関係

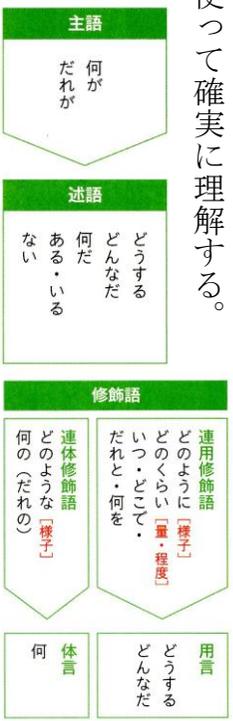
(例) おや、風が 強く 吹いて いる。(感動)

⑤並立の関係

(例) 風や 雨が 強い。

⑥補助の関係

(例) 風が 吹いて いる。



見分け方のポイント

☆ 「主語・述語の関係」の問題は、まず文末の述語を見つける。そして、その述語に対して、「何(だれ)が」なのかを考えるとよい。

☆ 「被修飾語」の「被」は、「被害者」「被告人」などのように、「こうむる(くされる)」という意味であることを考えるとわかりやすい。つまり、「被修飾語」とは、修飾されている語のこと。

☆ 「接続の関係」の接続語、「独立の関係」の独立語の後には読点(、)がつくことが多いので、見分けやすい。

☆ 「並立の関係」は、例文を使って、文節どうしが対等に並んでいることを確認するとよい。

☆ 「補助の関係」は、「〜ている(みる・おく・もらう・ない・ください)」「〜である」「〜などのパターンを覚えるとよい。

ここでは、文節どうしの関係には六つの種類があることを理解することが大切です。



文節の関係の基本は、主語・述語の関係です。また、被修飾語は、修飾語の下にあります。遠く離れているものに注意しましょう。

